

ローカルSDGs四国 地域エネルギー分科会

第五次環境基本計画を四国で
具体化・事業化する

2021.02.17

理念・方針・組織

理念 『四国のみらい = RE自立×中小企業憲章』

課題と方針

- ① 四国の資源を活用した再エネの導入
- ② 健康で心豊かな暮らしの実現 **の事業化**

組織

四国4県中小企業家同友会環境経営委員会+市民



① 四国の資源を活用したREの導入

- 四国地域新電力の推進 REアクション
- 営農型太陽光熱発電の推進
- 未利用系バイオマス資源(木質・廃棄物等)を活用した地域づくり
- 小水力発電の推進、水利用の改善
- REによる地域づくりに関する環境金融の拡大

②健康で心豊かな暮らしの実現

- 低炭素で健康な住まい ZEHの普及 住宅の高断熱・高気密改修の推進
- 食品ロス削減の推進
- 徒歩・自転車移動による健康寿命の延伸
- テレワークなど働き方改革の推進 環境面における効果の「見える化」
- 新たな木材需要の創出 CLTなど木材利用拡大
- エコツーリズムなどの推進
- 鳥獣捕獲強化・害獣被害対策
- マイクロプラスチックを含む海洋ごみ対策の推進
- 農福連携 6次産業化の推進

11 住み続けられる
まちづくりを



環境経営委員会（愛媛県中小企業家同友会）

2020年度活動の振り返り
&

2021年度何する？

- ・ 2020年度は学習の年
- ・ 2030年の未来希望図



- ・ 2021年度、事例を作ろう！！！！

- ①野間地区再エネプロジェクト@今治
- ②LED'S・ZEH・REアクション
- ③バックアップ、フォロー

2/14(日)10時～16時

四国内でエネルギー自立
環境配慮が当たり前
若い人の就業機会up↗

野間地区再エネプロジェクト@今治

2 飢餓を
ゼロに



・阿方、野間小学校エリア



- ・阿方営農型発電、用水を活用した小水力
- ・野間地区の農業従事者・住民を巻き込んで、
出資・協力により集落へメリット（FITより自家消費）
- ・再エネ自家消費で有機野菜を栽培

LED'S、ZEH、REアクション

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



LED'Sとは

「Local Energy Direct Supply」の略。住宅の屋根に、住民の費用負担なく
太陽光パネルと災害用電源としての小型蓄電池を設置するというもの。

→このシステムを同友会企業の屋根に（RE企業を増やす）

- ・ CO2排出の多い中堅の製紙企業にも；四国中央
- ・ 市民向けにはZEH（ゼロエネルギー住宅）とともに展開
- ・ ファイナンス...小口（1社20万円？）で
- ・ 運営形態は合同会社（LLC）について学習しつつ
LS四国とも金融面の相談、シミュレーション

バックアップ、フォロー

- ・ **再エネプロジェクトの実践をバックアップし、賛同企業を増やす**

シンポジウム、リーフレット、学習会、イベントの開催

- ・ 個々の環境イベントのフォロー

- ・ 環境経営委員会としてイベント等の予算措置

- ・ **消費者に対してムーブメントを作り、需要を創造**

→建設系企業だけでなく、消費者に近い業種を巻き込んで

(ex:食品のステークホルダー、

コープえひめ組合員30万人→4 生協へ)

4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



組織とファイナンス

組織：四国4県中小企業会同友会環境経営委員会+市民

責任者 愛媛：平野 事務局 愛媛：安丸・菊間 香川：藤川

委員：4県環境経営委員 市民(農民)・研究者他 企業・NPO・金融等

委員は、本業でSDGsに貢献しつつ、分科会に参加 事業化を担う

若手専従経営者を早期に決める

ファイナンス：委員有志で合同会社(LLC) 設立 ホールディングス

地域金融のESG投資 四国市民の寄付

分科会に課題別(REアクション・バイオマス発電等) 部会を組織

地消地産地商の起業に繋げる 地域限定のエネルギー自立地域を横展開

利益は、地域課題解決に充てる